

平成30年
3/9
金曜日

土木学会西部支部 対馬エクスカージョン

申込み期限
3/5

【趣旨】

国境離島「対馬」。古来より日本と大陸との架け橋として、文化や産業を担ってきました。対馬暖流の恵みの生物多様性や水産資源にねざす漁村、古代からの伝統も息づいています。

現在、対馬は急激な国際化と海洋環境や気候の変化に直面しています。

対馬の人々の暮らしやインフラの現状を見学し、土木技術がどのように役立っているかを考えます。

国境離島対馬の国際化と気候変化に対応していく地域づくり

- 国際化の中での交通の課題
- 過疎集落の生活インフラや防災の状況
- 伝統文化の保存や活用と人材育成
- 島ならではの持続可能な社会への転換の試み

対馬市キャラクター
つしにゃん



鰐浦・韓国展望台

西泊・上対馬漁協

比田勝港国際ターミナル



参加者	A班	B班
集合場所	厳原	対馬空港
集合時間	7:50	8:20
解散時間	19:00	18:20

日時：2018年3月9日（金）

資料代：1,000円（昼食・保険・税込み）

※但し、対馬空港までの交通費は各自ご負担ください。

定員：25名（A・B班まとめて乗車）

A班 一般参加者（対馬市役所集合）

市役所・観光協会・漁協職員、島内外住民

B班 土木学会会員（対馬空港集合）

土木学会会員

※技術者继续教育プログラム CPD（予定）

懇親会（厳原）／解散後希望者のみ

※見学会終了後に予定

【飛行機にて日帰り可能】

福岡 対馬
07:45 ⇒ 08:20
ANA 4931

対馬 福岡
19:15 ⇒ 19:45
ANA 4940

長崎県対馬市

お申し込み・詳細は案内サイトをご覧ください

<http://ecoenglabqu.jp/tsushima/jsce/>

主催：公益社団法人 土木学会 西部支部

